

# へら鮎釣り専科・・・当時の雑誌媒体全てに気を使ったかのようなタイトル（笑）

2016年10月22日

ネットをブラブラしていて偶然にを見つけました。感動モノです。  
テキストは電子化して所有していますが、肝心な動画とは26年ぶりの再会。



何年も探してたんですが、先月のアップロードじゃ見つからないワケです。



第一回は横利根川ってのが、旧き佳き時代のへらぶな釣りってカンジですね。  
90年って僕の中ではかなり近代というか現代なんですが、番組の古臭さに驚きます。



この二年後に佐藤会長（出演当時、日研理事長）にも、福本さんにもリアルに出会います。福本さんの和舟の中に映っている小春のビッグバッグ（白いボックスタイプ）がツボです。僕が買った小春は、次のモデルになるダイナミックからだったので、懂れました。船外機付きの小川さんとは北斗入会后なんで三年後かな。

小春、ふまつげん、セイコー、北斗。。  
良い時代でした。

後に北城さんとコラボするなど、想像もしていない時代です。  
（まだ出会ってないし、テキスト中の親子が北城さんとも知らず）





2. 水辺に遊ぶと、釣り道具を持ってでもワラワラ。



1. もしりか返えて、父が今日は釣れると戻った。



4. 木の葉釣り用のベラワ。高級鮎のグルマワ。



3. 赤ソボン、ソボンワ、赤鮎しがないエサ作り。

昨日、父がめずらしく「釣りに行くか?」と声をかけてきました。小学生のころはよく近くの川に連れて行ってくれた父ですが、最近では、いつも一人で出かけていたんです。日曜日は母と買い物もしたいけど、ま、いいか、父につきあってあげるのも。「明日は釣りを一から教えるゾ」とハリきっていたんだから。



当時のシマノはわびすけの広告。  
今も僕は10尺を現役で稼働させてます。

竿に惚れ込む。わびすけは竿を感じていただける。

「竿に惚れ込む。わびすけは竿を感じていただける。」  
この言葉は、釣りの楽しさを伝えるための言葉です。釣りの楽しさとは、竿の振動や、魚の咬みつき、そして、魚が釣れる瞬間の喜びです。この言葉は、釣りの楽しさを伝えるための言葉です。釣りの楽しさとは、竿の振動や、魚の咬みつき、そして、魚が釣れる瞬間の喜びです。

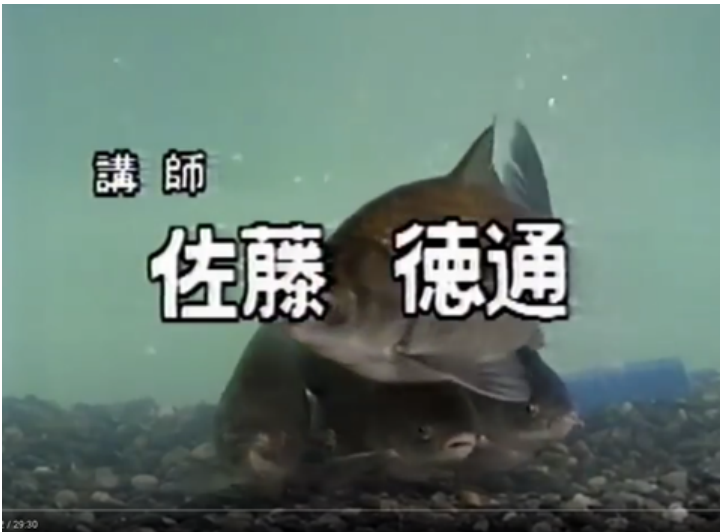
SHIMANO  
シマノ工業株式会社 釣具事業部  
東京都中央区新富1-1-1 新富ビルディング 5F  
TEL: 03-5561-3111 FAX: 03-5561-3112

横利根での現場講師の中田さんは存じ上げませんが、舟の中に花が！  
フォルクスワーゲンのビートルの一輪挿しみたいで粋です。こういう文化があるんだってことを知りませんでした。いや、もしかしたらこの方だけなのかもです。

段違い二層の小春に萌え〜♡  
先輩からお下がりでもらいましたが、僕は後に小野田さんで二度作ったバカです。







全9回ぶん、観終わるまで今夜は眠れません。